

日本交通学会 2024年度 第83回 研究報告会プログラム (第1報)

【統一論題】

「公共交通・トラックの自動運転の普及と都市・交通政策の新たな挑戦」

A New Frontier in Urban and Transportation Policies for the Rise of Autonomous Public Transport and Freight Truck

開催日：2024年10月12日(土)・13日(日)

開催校：東京都市大学

開催会場：東京都市大学 横浜キャンパス 3号館

神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1 (<https://www.tcu.ac.jp/access/>)

【第1日目】10月12日(土)

- シンポジウム：12時30分～15時00分
- 会長講演：15時10分～15時40分
- 会員総会：15時50分～16時50分
- 懇親会：17時30分～19時30分

【第2日目】10月13日(日)

- 自由論題研究報告(午前)：10時00分～12時00分(セッションA・B・C)
- 自由論題研究報告(午後)：13時30分～15時30分(セッションD・E・F)

【趣旨】

これからも継続する人口減少と人口構成の変化(特に高齢化率の上昇)により、旅客・貨物交通ともに需要と供給構造が変化していく。同時に旅客・貨物交通の担い手の不足は都市部・地方関係なく今後顕著になっていくであろう。多くの交通事故はヒューマンエラーによるものが多く、安全技術の発展により死傷者が減るなどしているものの、これをより減らしていくことが重要である。また、多様化する価値観や活動を実現できるように、個々人のニーズに合う、利便性の高いモビリティを実現することが望まれる。

これらの課題を解決するために注目されている技術革新が、交通機関の自動運転技術である。ソフトウェア、ハードウェア、センサ技術、通信技術の目覚ましい発展と国の支援を背景に、この自動運転技術が近年急速に進歩している。日本政府は、自動車分野の自動運転技術ではレベル4の実現と自動運転技術の普及を今後の課題として取り上げ、自動運転による移動サービスの分野で実証事業の拡大・連携を行う方針を出している。さらに、高速道路における自動運転の支援や公共交通分野における自動運転の実証を進展させる取り組みを行うことにしている。また、これらの様々な取り組みを通じて、新たな交通サービスの出現や交通に付随する新たな付加価値を創出されることも期待されている。

今後、それら自動運転を着実に社会に実装・普及させることが望まれるのであるが、普及の過程において、いかなる社会問題が出現するのであろうか。また、社会問題に対して、都市・交通政策はどのような挑戦を行うべきであらうか。

そこで、今回の統一論題シンポジウムでは、都市、公共交通そしてトラックの自動運転に関わるエキスパートをお招きし、各種自動運転の現状と将来展望、今後の普及における課題、そして望まれる都市・交通政策について忌憚なくご意見を頂く。その後、フロアの皆さまと共にどのような都市・交通政策を展開すべきなのかを討論し、それら政策の挑戦の方向性を明らかにしていく。

日本交通学会 第83回大会実行委員長 東京都市大学 岡田啓

【お問い合わせ先】日本交通学会事務局 E-mail : info@koutsu-gakkai.jp / TEL : 03-5363-3102

※ 社会状況などに応じて開催方法が変更となる場合があります。詳細はホームページなどで随時お知らせいたします。

【 自動運転バスとトラックの車両展示 】

- 展示場所：東京都市大学 横浜キャンパス 4号館と1号館の右側にある駐車場
- 展示時間：調整中

【第1日目】10月12日（土）

1. シンポジウム

統一論題テーマ「公共交通・トラックの自動運転の普及と都市・交通政策の新たな挑戦」

- 11：30～ 受付開始
- 12：30～12：40（10分） 趣旨説明
- 12：40～13：20（40分） 基調講演
- 13：20～13：30（10分） 休憩
- 13：30～15：00（90分） パネルディスカッション

【基調講演】

長束 晃一 氏（東急株式会社 社会インフラ事業部 事業統括グループ 自動運転チーム 課長）

【パネルディスカッション】

（パネリスト）

後藤 孝夫 氏（中央大学 経済学部 教授）

長束 晃一 氏（東急株式会社 社会インフラ事業部 事業統括グループ 自動運転チーム 課長）

西山 敏樹 氏（東京都市大学 都市生活学部 准教授）

森本 成城 氏（株式会社 T2 代表取締役 CEO）

（50音順）

（コーディネーター）

岡田 啓 氏（東京都市大学 環境学部 准教授）

2. 会長講演

15：10～15：40（30分）

日本交通学会会長 竹内 健蔵 氏（東京女子大学 現代教養学部 教授）

3. 会員総会

15：50～16：50（60分）

4. 日本交通学会賞 授賞式

16：55～17：05（10分）

5. 懇親会

17：30～19：30（120分）

会場：調整中

参加費：調整中（5,000円～6,000円）

【第2日目】10月13日（日）

1. 自由論題研究報告

- 9：45～ 受付開始
- 10：00～12：00 セッションA（鉄 道）（3号館 階 ）※調整中
- 10：00～12：00 セッションB（道 路）（3号館 階 ）※調整中
- 10：00～12：00 セッションC（公共交通）（3号館 階 ）※調整中
- < 休 憩 >
- 13：30～15：00 セッションD（観 光）（3号館 階 ）※調整中
- 13：30～15：00 セッションE（航 空）（3号館 階 ）※調整中
- 13：30～15：30 セッションF（モビリティ）（3号館 階 ）※調整中

- ※ 報告所要時間は「発表20分、討論5分、質疑応答5分」。
- ※ 詳細は日本交通学会 HP に掲載の自由論題プログラムをご覧ください。（8月下旬公開予定）
- ※ 会場は変更になる場合があります。変更となった場合は随時更新しますのでご注意ください。
- ※ 大学構内の食堂は営業しませんので、昼食は各自ご用意ください。

【会場配置図】会場案：シンポジウム・総会・自由論題報告



【交通アクセス】

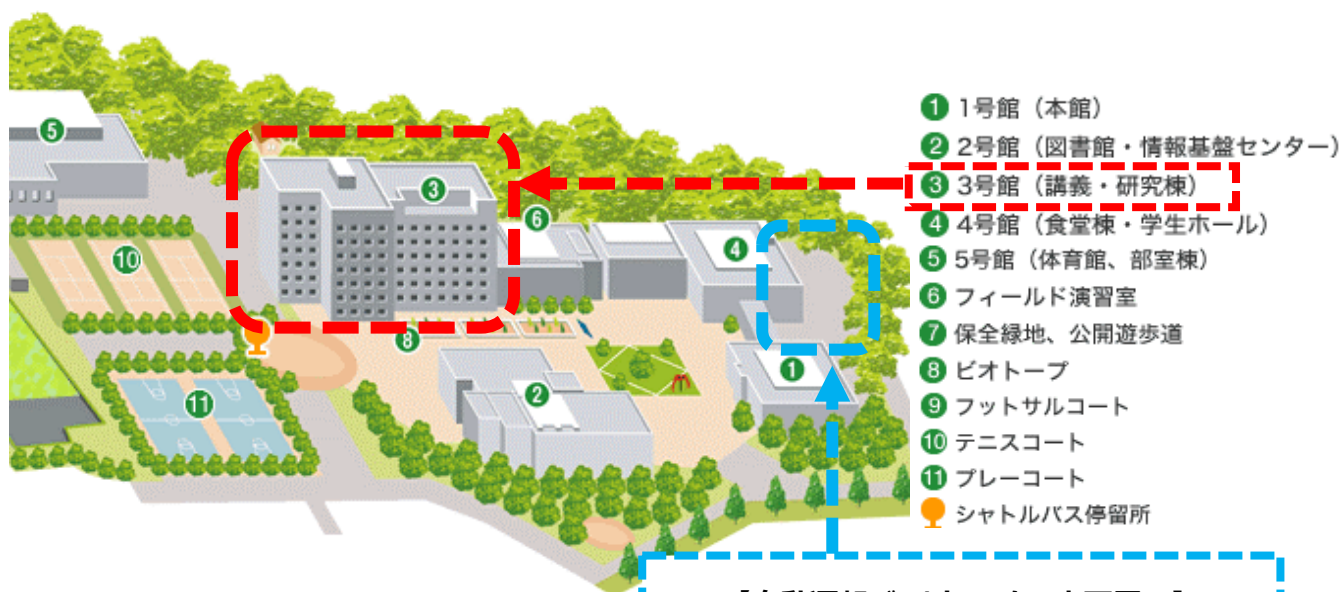
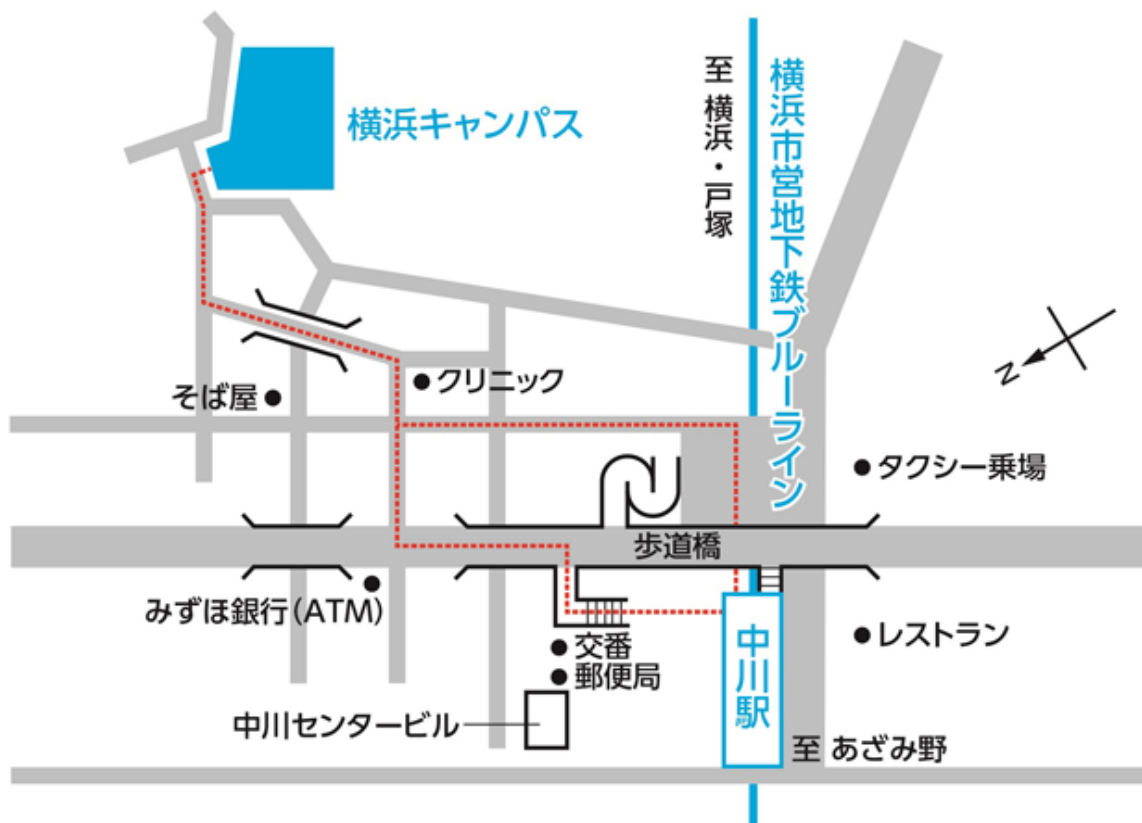
<https://www.tcu.ac.jp/access/>

【主要駅からの乗り換え所要時間】

<https://www.tcu.ac.jp/tcucms/wp-content/uploads/2020/05/access.pdf>

【横浜キャンパス】〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1

横浜市営地下鉄ブルーライン「中川（東京都市大 横浜キャンパス前）」駅下車 徒歩 5 分



【自動運転バスとトラックの車両展示】

展示場所：4号館と1号館の右側にある駐車場

展示時間：調整中